

土づくりは終わりのない仕事です

(有)高橋建材興業 専務取締役
高橋 翼さん(29歳)

高校卒業後は、アメリカの大学でビジネスを学んでいましたが、会社を継ぐため7年前に帰国しました。現在は、通し土とパーク堆肥の販売をメインに、木くずの処分や薪の販売も行っています。土づくりは、お客さん一人ひとりのニーズに合わせてブレンドしたものを提供しているため、配合の比率などを考え、常に評価されるものを作り続ける、終わりのない仕事です。これからも高知の農業を応援していくために100%満足頂けるような商品づくりを目指して従業員全員で取り組んでいきます。

最近ハマっていることはオフロードバイクで、休日は山を駆け巡っています。

弘岡下より



オリジナルのビオラを

「バズらせたい！」

見元 大祐さん(31歳)

大学院時代、接客の楽しさを感じたことから、(有)見元園芸で営業・接客をし始めて7年目。とさのさとには花苗・野菜苗を中心に、5月下旬～6月下旬ごろにはトウモロコシも出荷しています。苗は植物がよりしっかり育つような土づくりに力を入れ、常に品質が良いものを届けることを意識しています。消費者の方と直接話し、顔を覚えてもらえることがやりがいで、日々の活力につながっています。

現在は、海外でのビジネスを發展させていくよう計画中。まずは、自社オリジナルのビオラを「バズらせたい！」中国の農家さんに協力いただき、販路拡大に向け試行錯誤しています。

とさのさとより



高知
地区

から こんにちは
今月の〇〇 気になる人

森山より



人と市場のつながりが大切です

川島 光明さん(84歳)

森山農協に入組してから、キュウリやトマト、ナスの販売業務に長く従事していました。平成21年度からは1期、JA高知春野の組合長を務め、人と市場とのつながりを大切に、農家の所得向上に努めました。また、当時県下で3番目に出来た直販所「春の里」の立ち上げにも関わりました。春の里への出荷が、生産者の生きがい・定年の無い仕事の場になっていれば嬉しいです。

現在は、家の前の畑でネギを6アール程度、ハウスでイチジクやブドウ、米も35アール栽培しています。毎朝、畑の世話やバーコード貼りをして、春の里や地元のスーパーへ出荷に行っています。

仲良し兄弟です♪

兄：高橋 壱成くん(7歳)
弟：高橋 一颯くん(3歳)

壱成くんは算数を頑張る小学1年生。一颯くんはブロック遊びが好きな年少さん。いつも一緒に仲良し兄弟で、2人とも働く車と虫が大好き。お気に入りの車のおもちゃはトラクターとコンバインです。また、虫も好きで、カマキリを育てているそう。そんな2人の遊び場は、おじいちゃんとおばあちゃんの畑。どろんこになって遊ぶこともあるけれど、ちゃんと畑仕事も手伝うしっかり者です。

今年の夏休みは、虫取り・プール・家族旅行… 楽しいことがいっぱいだね！

東諸木より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 高知地区 年に1度のタレ作り 部員みんなで和気あいあいと



タレ作りを行う部員

春野地区女性部弘岡下支部は6月12日、高知市で焼き肉のタレ作りを行いました。この活動は毎年1回行われており、今回は6人の部員が参加。作成したタレは、部員やその家族で使用しています。このタレは、春野地区内では昔から作られてきた共通のレシピがあります。弘岡下支部では材料にバナナを付け足し、味に甘みと深みを出すことが特徴。また、同支部では直販所「春の里」で果物・野菜などを全て仕入れること、Aコープ商品を使って作ることにこだわっています。同支部の甲藤繁子支部長は「年1回、部員が集まって和気あいあいと話しながら作るのが楽しみ」と話しました。

3 高知地区 県産牛乳の消費拡大を！ 女性酪農家らが県知事訪問



知事を訪問した女性酪農家とJA役員

高知酪農連合協議会青年部とJA高知県は6月1日、高知県庁を訪れ、県産牛乳の地産地消と消費拡大を呼び掛けました。県では、酪農産物を多くの人に知って貰うことを目的に県産牛乳の消費拡大に取り組んでいます。若手の女性酪農家6人とJA役員らが濱田省知事を訪問し、牛乳で乾杯しました。青年部の高橋希希さんは資料・飼料高騰などによる県酪農家の厳しい現状を訴えました。濱田知事は「若い女性酪農家の皆様によって、高知県の酪農は支えられています。お陰で今日も地元産の美味しい牛乳を飲むことができ、本当にありがたい」と話しました。

6 高知地区 営農指導員ら成果発表 一人一研究発表会



最優秀賞：山影さん 優秀賞：伊藤さん

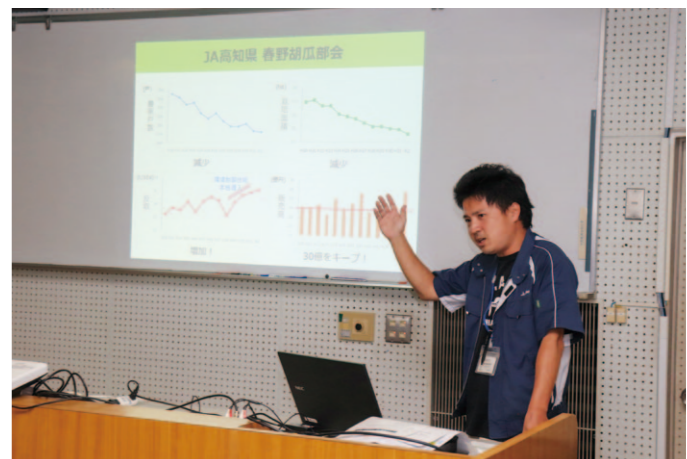
県内JAの営農指導員で構成する高知県協営農指導員会は6月23日、会員営農指導員の相互研鑽、資質向上を目的に2023年度一人一研究発表発表会を高知市で開催しました。同発表会には県内から約100人の営農指導員が参加。各ブロック代表者ら8人が日頃の業務成果や研究成果を発表しました。安芸営農経済センターの山影学さんが最優秀賞、はた営農経済センターの伊藤聖弥さんが優秀賞を受賞。山影さんは「日本一のユズ産地を支える取り組み」と題し、生産拡大・所得向上・担い手確保を目標に行った活動について報告しました。

4 高知地区 親子でサツマイモ定植 キュウリ収穫体験



サツマイモを植える親子

JA高知県は6月3日、春野町で第4期あぐりスクールの2回目を開きました。親子15組30人がサツマイモの定植やキュウリの収穫を体験しました。サツマイモの定植では、同JA営農指導員の石井広晋さんが「収穫できるイモの数・大きさのバランスが良い」と「斜め植え」を実演しながら説明。親子は300本のつるを植えました。サツマイモは、10月の収穫を見込んでいます。協力した農家の山中康平さんは「深く植えず、とても綺麗に定植できていた。自然の中で育つ様子を想像しながら、植えてもらえれば」と話しました。



高校生に取り組みを伝える浪越さん

1 高知地区 進路に役立てて 高校生に普及所・JAが講演

春野営農経済センターは6月8日、高知県立春野高等学校が主催する進路説明会に参加し、高校1〜3年生に講演しました。この説明会は、実際に社会で働く職業人から直接話を聞き、高校生の進路に役立てることを目的に同校が企画しています。講演では、県普及所の職員が高知県の農業の現状と課題、IoTについてこれまでの県の取り組み等を説明。その後、営農指導員の浪越介さんが春野胡瓜部会での実例を紹介しました。環境制御技術の導入状況やハウス内環境データの「見える化」を促進する取り組み等を発表しました。説明会に参加した、農学部への進学を目指す生徒は「IoTなどのデジタル化については、難しいイメージを持っていたが、経験や勤に頼りすぎないようなデータ農業の話聞いて、印象が変わった。進学後の学びにも活かしたい」と話しました。



参加者に指導する濱田さん

2 高知地区 県産の花もっと身近に 社会人向けアレンジメント教室

JAグループ高知と高知県で構成する高知県園芸品販売拡大協議会は6月11日、県内の社会人を対象としたフラワーアレンジメント体験教室をとさのさとで開きました。この取り組みは今年初めてで、体験を通じて高知県産花きの購買に繋げることが目的です。教室には20人が参加。講師は土佐市にある金子生花店の濱田達也さんと高知市の生花店tomoniflowerの橋田智彰さんが務めました。トリア、ガーベラなど主に県産の花を使用。花の向きを考えながら、葉物を先に、その後花を自由に生けるように指導しました。SNSで教室を知り、香美市から訪れた40代の女性は「色々な花に触れることができ、他の人の作品を見て話しながら作れたので、とても良かった。台所に飾りたい」と話しました。

高知農業改良普及所より

台風被害等に備えよう

台風による強風害は7～10月に多く、特に8月、9月に大きな被害を受けています。気象庁のデータによると、2013年から2022年までの10年間に四国地方に接近した台風は38個で、少ない年でも1個、多い年は6個の台風が接近しています。

今回は、農業用ハウスを中心とした、台風襲来時の対策のポイントについてお知らせします。

台風接近前までに行う事前対策

○情報収集

- ・最新の気象情報、警報、注意報を常にチェックする。

○周辺整備

- ・ハウスの周辺は良く整理し、風に飛ばされやすいものは片付けておく。
- ・燃料タンクやガスボンベ等をしっかり固定し、燃料コックは閉めておく。
- ・ハウス周辺の排水対策をしっかりと行い、ハウスの谷樋、縦樋等のゴミは取り除く。

○停電対策

- ・タンクにかん水用水を貯水しておく。
- ・自動換気（天窗、側窓）・遮光カーテンの手動開閉の操作器具や足場を準備しておく。
- ・非常用発電機を養液栽培装置、環境制御装置に接続する（発電機を持っている場合）。

○破損・倒壊対策

- ・被覆材のたるみや破れがないか確認する。
- ・換気部（サイド部、谷部）、被覆材の隙間等の風の吹き込み口となる箇所があればふさいでおく。
- ・ハウスバンド、被覆材の留め金具に緩みがあれば、しっかりと締め直す。
- ・ブレースや筋かいの留め金具に緩みがないか確認する。
- ・基礎部、接続部分、谷樋・柱に腐食やサビはないか確認（普段から定期的に点検しておく）。
- ・斜材を設置するなど、風を強く受ける部分の補強を行う。
- ・ハウスの出入口の補強（かんぬき等）や戸締まりをする。
- ・換気扇のあるハウスは換気扇を回してフィルムを引きつけておくと良い（吸入口は閉じておく）。



台風通過後の事後対策

①早急に施設を見回り、破損箇所があった場合補修する。

②窓の自動開閉装置の電源は元に戻し、換気を図り、施設内の高温を防止する。

③施設及び施設周辺の排水を積極的に図る。

④作物に対する当面の対策

- ・作物への泥の跳ね上がりが多い場合は、動力噴霧機等で洗い流す。
- ・潮風を受けた場合には、台風通過後直ちに散水して茎葉に付着した塩分を洗い流す（温度や日射量が高くなると被害が大きくなる）。
- ・傷口より病原菌が侵入しやすいので、天候を見計らって薬剤散布を行う。
- ・作物によっては、即効性の窒素、加里を利用し、草勢の回復を図る。液肥の施用や葉面散布を行うのも効果がある。

台風の襲来直前になってあわてて対策を行おうとしてもなかなか対応できません。施設は普段からメンテナンスを怠らないようにしましょう。また、台風通過中は人命優先のため、無理な作業は絶対に行わないようにしてください。

（参考：こうち農業ネット「農業用ハウスの台風・強風対策」）

問い合わせ先：中央西農業振興センター 高知農業改良普及所
(TEL.088-866-0711) (FAX.088-861-0660)



春野営農経済センターからのお知らせ

高知地区 春野営農経済センター 営農指導課
電話:088-894-5660

土づくりについて

良い土とは？

保水性、排水性、通気性、保肥力が良い事です。



良い土づくりとは？

- ・土中の微生物の働きで細かな土の粒子がくっついて団粒ができます。小さな団粒の集まりの団粒構造をしっかり作りましょう。
- ・有機物（稲わらや堆肥等）を土壌にすき込むことにより、有機物を餌として微生物が活発化し団粒構造が持続します。また、物理的に保水性や排水性、通気性、保肥力がよくなります。
- ・団粒構造がうまくできていると、団粒の中で水分が保たれ、団粒と団粒の間には適度な隙間ができ、排水と通気が良くなります。植物は成長に必要な水分が十分にあり、根の張りが良く、元気な植物を育てることができます。
- ・団粒構造がうまくできていないと、土が固く締まり、排水や保水がうまくいかず、通気性も保肥力が弱まってしまいます。植物の根の張りが悪くなり、十分な水分や肥料もないために育ちも悪くなります。

※有機物（稲わらや堆肥等）などを使用して、良い土づくりを行い、元気な植物を育てましょう。

私の食育日記 お水を飲んでいきますか

食育インストラクター●岡村麻純

岡村 麻純（おかむらますみ）
タレント、食育インストラクター。
お茶の水女子大学食物科学講座卒業。
大学では食育をテーマに研究。
現在は男女2児の母。

暑い日が続くこの時期、子どもたちが水を飲む機会を増やすようにしています。人の体重の約60%が水分です。子どもですと、さらに割合が多くなります。人が一日に必要な水の量は、その人の運動量や代謝にもよりますが、平均して体重の4%、体重50kgの人なら2Lとなります。体内水分量の多い子どもは、幼児期で体重(kg)×100mlとされます。時々、家族それぞれの必要な水分量を計算して、意識するようにしています。

一日を振り返ってみるとこの水分、どんな飲み物で取っていますか？例えば朝、子どもは牛乳、親はコーヒー、おやつはジュースなど、大人はカフェイン飲料の割合が、子どもは甘い飲み物の頻度が多い多くなってしまいます。しかし、汗を多くかくこの時期に一日の水分量を満たす量を水以外で摂取すると、明らかにカフェインや糖類の取り過ぎになってしまいます。コーヒーを飲む前に水を1杯飲むなど、水分摂取の半分でもいいので水を取り入れてみてはいかがでしょうか。お茶も魅力的ですが、それに併せて、最も体に浸透しやすい水を飲むことも大切にしています。

運動するときの水分もできるだけ水にしています。体内の筋肉には70%以上の水分を含んでいます。運動中に水分が不足すると、筋肉の細胞内の水分が出され、血流が悪くなり、足がつるなどのトラブルも起こしてしまいます。胃の弱い子どもは運動後一気に水を飲むと、吐き戻してしまうこともあります。運動中の水分は刺激が少ない水を小まめに飲むように伝えています。

暑い夏、30分のお散歩をしただけでも、コップ半分の水分補給は必要になります。朝起きたとき、帰宅後、おやつの後、お風呂上がりなど、軽く1杯水を飲むだけでも一日の水の摂取量は増やすことができます。喉が渴いたと感じる前に、小まめに水を飲むことを習慣にしたいと思います。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

特集「ミートプロこうち」詳しく、それでいて分かりやすい説明があつて良い。畜産に関心のある方々のみならず、いろんな読者層に幅広く発信できたのでは。

(高知市升形 60歳)

▼6月号では、高知市海老ノ丸に新設された食肉センター「ミートプロこうち」の新しくなった機能や役割を特集しました。と畜・加工・競り・卸売りを一本化した「ワンストップ体制」などを紹介しています。写真を通して、様々な方々に施設の雰囲気や伝われば嬉しいです。私も実際に取材に行きましたが、枝肉が何本もぶら下がっている冷蔵庫の景色は圧巻でした。

こうぐりフォトコンの写真がどれも素敵でした。

(高知市鴨部 63歳)

フォトコン、皆さんの日常の1コマ。どれを見ても、癒されます。

(高知市高須 40歳)

▼「こうぐり」50号記念企画として「井こうぐりフォトコン2023」を開催しました。入賞作品を始め、投稿されたステキな写真の数々をご紹介します。なんと応募総数218点！応募していただいた皆さん、たくさんの方々の高知の「食」と「農」が伝わる写真をありがとうございます！

新茶まつりが久しぶりに行われたようで、嬉しく思いました。若い人たちにも土佐茶が広まってほしいです。

(高知市塚ノ原 45歳)

▼6月号のトップニュースでは、高知市の中央公園で5月、「新茶まつり」が開かれたことをご紹介します。4年ぶりに試飲も復活し、たくさんの方々が出来店され、水出しの一番茶を楽しんでくれました。私も飲みましたが、すっきりとした口当たりで飲みやすかったです。

「こうぐり」ってなんの意味があつて、そうだったの？

(春野町森山 31歳)

▼高知の「こう」と農業・アグリカルチャー(英語)の「グリ」を掛け合わせ、「こうぐり」が誕生しました。2019年1月から発行していますが、名前の由来を知らなかった方も多いのでは？

熱中症に気を付けて色々な屋外作業をしています。

(高知市高須 74歳)

▼暑い日が続いています。農作業や掃除などを行う際は、こまめに日陰などで休憩・意識して水分補給して、無理をしないよう気を付けてください。

毎月、限られたページ数の中での素晴らしい「文」や「写真」。読む者・見る者の心を癒してくれます。ありがとうございます！！

(高知市秦南町 84歳)

▼毎月、このようなお便りを数件いただきます。ありがとうございます！広報誌の中心を作るものとして、これより嬉しい言葉はありません。これからも広報担当三回は、組合員・地域の皆さんに楽しんでいただけるような広報誌づくりに励んでいきますので、応援よろしくお願ひします！

JA高知県 無料年金相談会 開催

開催日 令和5年 9月2日 (土)

時間 午前10時～午後3時

場所 高知県農協春野支所 金融事務所2F

TEL 088-894-2203 (担当：徳弘・小川)

こんなお悩み ありませんか？

- ・年金ってどこでどんな手続きをすればもらえるの？
- ・自分はいくら年金がもらえるのだろう？
- ・最近、年金の封筒が届いたけど、どうすればいいの？



ご来場をお待ちしております～相談会で年金の疑問を解決しましょう～

- ★ 専門の社会保険労務士が、ご相談を無料でお受け致します。
- ★ 年金受給中の方、新規お受け取りの方、どのようなご相談もお受け致します。お気軽にご相談ください！

※ ご予約をお願い致します。ご予約の無い場合、多少お待ちいただくことがあります。